

Profile
 ・2016年 熊本高等学校卒業
 ・2020年 アメリカ マサチューセッツ工科大学電子工学部 卒業
 ・2021年 マサチューセッツ工科大学電子工学部修士課程 卒業、帰国
 マイクロンメモリジャパン株式会社入社



研究者の夢に向けて
 専門性の高い大学へ
 回路設計の仕事に従事

マイクロンメモリ
 ジャパンでの、在学中
 のインターンシップ

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

元々英語と科学が大好きでしたが、きっかけは熊本県の海外チャレンジ塾でした。そこで初めて、頑張れば自分でも海外の一流大学に進学できるかと思いました。また「将来、研究者になりたい」という夢にも重要なステップだと思い、海外進学を真剣に考え始めました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

本格的な準備は高校1年生の時にスタート。海外チャレンジ塾では、TOEFLとエッセイ対策に取り組みました。学校では、アメリカの大学進学希望者の基礎学力を測るテストであるSAT対策の個人指導や推薦状などを協力してもらいました。それらと学校での通常の勉強、学外での課外活動を同時にこなしていくのは大変でした。出願先は、外国人への奨学金の充実度、工学部のレベルの高さで選び、数校に絞

りました。合格校の中から進学先を選ぶ際は、1年生から研究に携われることと、校風に注目しました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

進学後は学術的に鍛えられたのはもちろん、自分のやりたいことを見つけられました。夢をかなえるために自分から動いたり、サポートしてくれる人を巻き込んだりする力が身に付きました。在学中の研究や実習を通して、興味が電子工学、特に電気材料と回路設計に絞られていきました。またインターンシップの経験から、自分は大学の研究よりも人の手に比較的すぐ届いて役に立つ企業での設計や開発の方がワクワクすることに気付き、修士課程修了後は、職務内容を最優先に日米で就活を行い、現在は日本で回路設計の仕事をしています。深い専門性を持つ先輩方からたくさん学びながら、自分のアイデアで回路実装もできる今の仕事にやりがいを感じています。

もっと知りたい！ 海外進学 Q&A

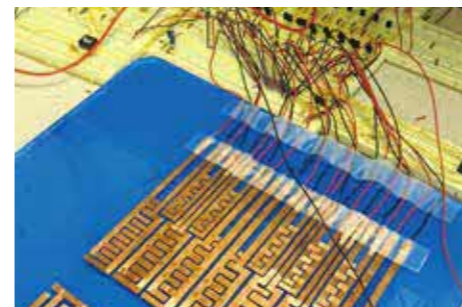


Q1 現地でどんなことを学びましたか？

学部1年生の時から研究に携わり、4年生の時に複数の著者で集まり、「超電導光子検出デバイス」をテーマとした論文(信頼性と品質を示す査読付き)を書きました。また、授業も面白いものばかりで、専攻の授業では実際に設計や製作を行う授業が興味深かったです。アナログ回路の授業では、二人組で自由な製作を行い、私は電子ピアノを作りました。また、SF文学と倫理についての授業や、フィギュアスケートの授業など、専攻以外にもユニークな授業を楽しめました。

Q2 プライベートではどのように過ごしましたか？

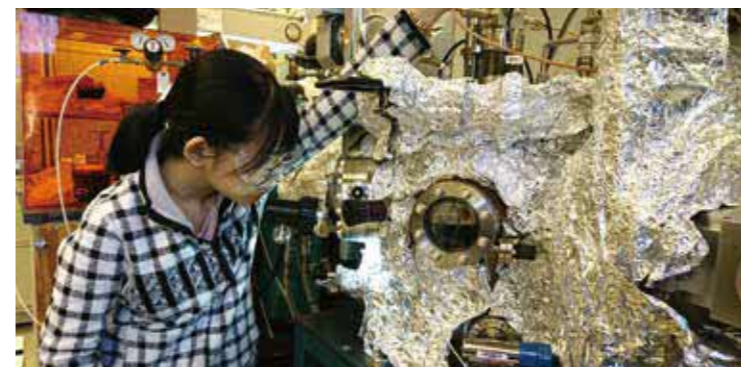
寮生活でたくさんの友人ができ、今でも連絡を取り合う親友もいます。週末はバレエや交響楽団鑑賞、美術館めぐりなど、たくさんの芸術にも触れることができました。



研究室での実験の様子



キャンパスでの卒業式



授業で製作したアナログ回路の電子ピアノ

後輩へのメッセージ

チャレンジする経験は今後の人生に生かせる

海外進学は費用の面でも準備の面でもハードルが高く、自分で考えて動き続けることが不可欠だし、正直大変なことが多いです。それでも、海外進学したいという明確な理由があればチャレンジしてほしいし、もしもそれが海外進学という結果につながらなくても、今後の人生でその努力は必ず自分の役に立つと思います。皆さんの幸運を願っています！



Profile

- ・2015年 文徳高等学校卒業
- ・2017年 アメリカ クインシー・カレッジ卒業、帰国
- ・2017年 ZIM:PROSHOP入社



もっと知りたい! 海外進学 Q&A



Q1 海外進学に向けて準備したことは?

英語力に自信が無かったので、高校でOC(オールラコミュニケーション)を担当するカナダ出身の先生に、毎朝30分程度、英会話の練習をしてもらいました。大学入学の前に銀行の残高証明や予防接種証明などを英語形式で提出する必要があったものの、熊本には対応してもらえる機関が少なく、もっと早く準備に取りかけられると良かったと思います。

Q2 現地生活で印象に残っていることは?

入学後半年は、B型肝炎の予防接種を受けにボストンの大学病院に行ったり、家にWi-Fiを通すために契約会社を訪ねたりとバタバタでした。私が過ごしたボストンは近代的な街並みと昔ながらの建物がたくさんあり、休日は散歩に出かけておいしいご飯を食べるのが楽しみでした。



海外で培った語学スキルを
ツーリズムビジネスに活かし
熊本のインバウンド強化をサポート

玉名にある蓮華院誕生寺奥之院でのツアーガイドの様子



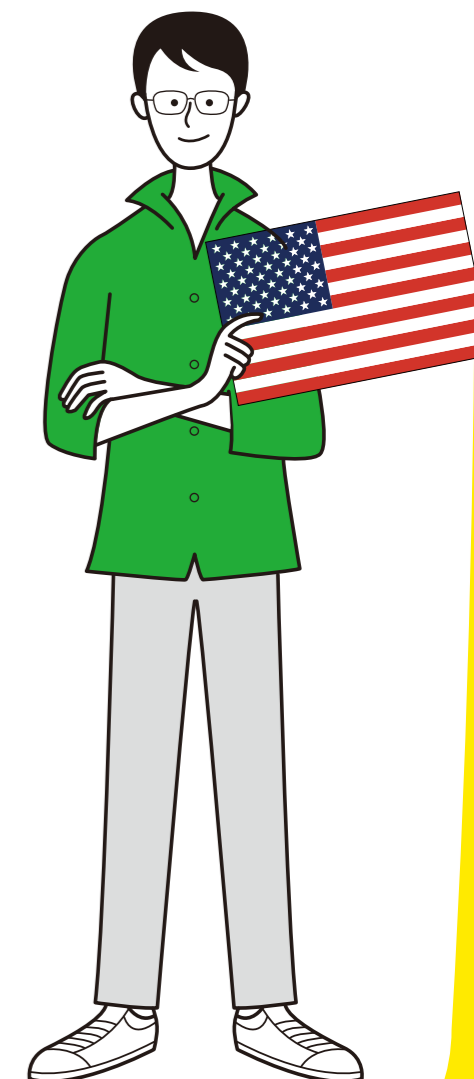
正面から見たクインシー・カレッジ。マネジメントやコミュニケーション、心理学など幅広い学部・学科があります



もちろんレポートも英語で作成。英語力が磨かれる大きな経験になりました



大学に食堂がなかったため、課題や友達とのグループワークでよく図書館を利用していました



先輩へのメッセージ

自分はできると信じて!

一度しかない人生で、海外進学を志すことは不安が大きく、大変な思いもあるでしょう。でも、海外進学にはそれだけの価値があります。やり遂げたときに得られる達成感や自信は、何ものにも代えがたいものです。自分はできると信じて、広い世界で羽ばたいてください。

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

元々は高校を卒業したら就職するつもりでした。しかし、英語の勉強や洋楽、洋画などが好きだったことや、両親の勧めが後押しになり「今しかできないかもしれない」と、思い切って海外進学をすることにしました。

Challenge [チャレンジ] 進学先での新しい経験

クインシー・カレッジは6カ月を単位に、1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる「セメスター制」です。卒業に必要な単位を取得するため、自分で事前に申請して講義を受けるのが新鮮でした。また、課題やプレゼンテーションが多く、予習や復習ではほぼ大学と家を行き来する毎日だったように思います。

住まいは、大学の近くでそれぞれ国籍が違う4人でルー

ムシェアをしました。お互いに自国の料理を作って食べたことは良い思い出です。国籍も価値観もさまざまな人たちと、英語でコミュニケーションを取る中で私の価値観も変化し、何事においても許容範囲が広がったように感じます。

Challenge [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

帰国後、実家が経営する会社に就職。家業は英語を使う仕事ではありませんが、その傍ら「ラグビーワールドカップ2019」の熊本会場などで、海外の人を英語でガイドしたこともあり、海外進学の経験を活かしました。

現在、地元の玉名市からインバウンド強化のための通訳ガイドの依頼をいただいています。海外の大学に行った経験があるからこそ、今につながっていると感じます。今後は通訳ガイドの仕事の経験を積み、ツーリズム商品の販売を目指します。

Profile

- ・2019年 玉名高等学校卒業
- ・2023年 カナダ ブリティッシュコロンビア大学
人文学部卒業 心理学科卒業
- ・2023年 カナダのメーカーに入社



やりたいことが明確に！
インターンの経験を積み
カナダのメーカーに就職

たくさんの思い出を胸に、4年間学んだUBCを卒業しました

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

高校1年の夏休みに、熊本県の海外チャレンジ塾で、海外大学生によるNPO団体「留学フェロウシップ」の方々の体験談やキラキラした姿に感化されました。それをきっかけに海外大学への進学を視野に入れ始めました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

海外大学専願を決めたのが高校2年生の夏くらいで、そこから準備を始めました。海外チャレンジ塾のTOEFL対策レッスンを受けたり、学校のALTの先生にスピーキングの対策をしてもらったりしました。海外チャレンジ塾で出会った他校の友人とも励まし合いながら勉強しました。3年生の冬が一番忙しく、毎日のように英語でエッセイを書いたり、奨学金の申請準備をしたりしていました。

Change [チェンジ] 海外進学を機に変わったこと

海外進学を通して自分の中で一番変わったことは、キャリア設計です。実は大学に合格し、カナダに渡った時点では自分のキャリアについてあまり深く考えず、「英会話が得意になれば日本でも就職しやすいだろう」くらいに思っていました。しかし、現地に出会った人々や参加したキャリアフォーラムなどから、カナダのワーク・ライフ・バランスを重視した働き方に魅力を感じ、カナダでの就職に向けて行動を開始しました。

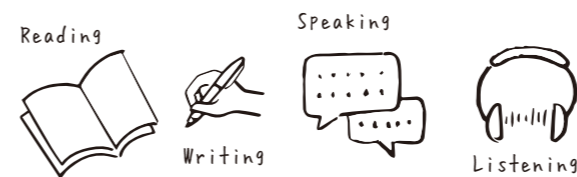
カナダは新卒一括採用はなく、即戦力にならないとインターンでも雇ってくれません。そのため学業の傍ら、無給のインターンなど自己研鑽を重ね、やりたいことを模索しました。大変な思いもしましたが、無事、在学中に就職先を見つけることができました。現在、ワーク・ライフ・バランスも実現し、楽しく働いています！

もっと知りたい！ 海外進学 Q&A



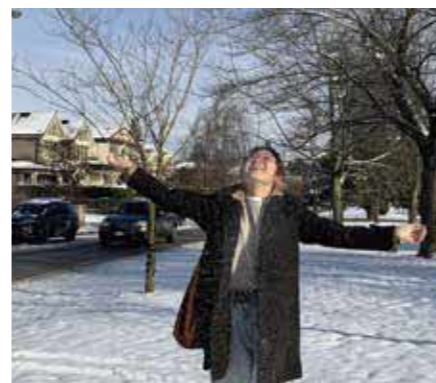
Q1 海外進学の準備で力を入れたことは？

一番苦労したことは限られた受験回数でTOEFLの目標点数を取ることです。これからの人は、できるだけ早めの受験をお勧めします！



Q2 大学生活を振り返っての感想は？

大学生活1年目は勉強についていくことに必死で、テスト前はよく泣きながら勉強していましたが、毎日新鮮で4年間の中で一番楽しかったです。2年生からはバイトを始めたり、大学のクラブ活動に参加したりして、より多くの人と出会い交流の輪を広げました。将来のことを考え始めた3年生の時は、クラブ活動で役職に就き、就職を意識するように。アップダウンも多くありましたがとても充実していました。



カナダの中でも温暖な気候のバンクーバー。しかし冬は、寒さが厳しい日も



大学の寮につながる道。広大な敷地の中に学生寮があり、そこで生活を送りました



美しいターコイズブルーが眼前に広がる「ガリバルディレイク」の一枚

後輩へのメッセージ

情報収集したら行動をするのみ

とにかく海外進学は情報戦です。どんな大学で、何を勉強したいのか、どこに行けば理想の教育を受けたり、経験を積んだりすることができるのか。教育レベル、治安、授業料、学問の専門性など、人によって大学に求めるものはさまざまです。とにかくいろいろ大学を調べて、志望校を絞りましょう。英語の勉強法、奨学金の情報もたくさんネット上に載っています。それらを見つければ後は行動するのみです！頑張れ～！

